

事務事業名	遠山郷観光戦略プロジェクト事業				会計	一般会計	実施区分	継続	
					事業種別	政策	開始	23 終了	
H29作成課等名	観光課	H29係等名	遠山郷観光振興係	H28担当課等名	観光課				
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり						
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり						
目的	対象(誰・何を)	①交流人口 ②指定管理施設数				対象指標	指標名及び単位		28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	遠山郷地域(上村・南信濃)の一体化及び活性化					遠山郷交流人口	216690	
	向上させたい上位施策の成果指標	新規就業者数(603)、新規立地拡張企業件数(2)、UITアレン者数(49)、開発プログラム(201)、新規就農者数(24)					遠山郷観光関係指定管理施設数	21	
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	定性目標	・南信濃、上村の住民が一堂に会し、遠山郷観光戦略計画を協議し、「遠山郷らしさ」を活かした一体的な観光振興を進める。							
事業概要	<p>合併協定の中でうたわれ、新市建設計画に搭載された「南アルプス遠山郷活性化プロジェクト」を具体的実現させる手だてとして、飯田市の観光拠点である「遠山郷観光」を一体的、総合的に推進することにより、情報発信力を強化し、地域経済を活性化させるため、23年度に「遠山郷観光戦略計画」策定を行った。これを踏まえ、今後数年次にわたり、計画的に事業を推進する。</p> <p>【計画事業の主要な柱】事業①～⑩の中で今年度分を列記。</p> <p>⑤広域観光看板製作、情報発信の強化:統一的な観光看板の整備。          ⑦上村、南信濃観光イベント事業(遠山郷観光協会):上村、南信濃の観光イベントを観光協会補助金に統合。          ⑩遠山郷観光協会体制強化事業(人的配置):遠山郷観光協会のマネジメント力を高めるため体制を強化する。          ⑬下栗の里への屋外トイレの新設:増加する集落散策を目的とした滞在型観光客のためのトイレを設置。          ⑭2次交通体制づくり事業(過疎集落緊急対策事業)          ⑮登山案内所運営モデル事業(過疎集落緊急対策事業) ⑯遠山郷観光戦略計画のさらなる検討、振り返り</p>								
28年度事業内容	事業内容				名称			活動指標	
	<p>1 遠山郷振興の検討 大学連携、地域との協働による遠山郷の具体的な振興策を検討、実施する。 道の駅遠山郷総合市場調査の結果をもとに整備計画を検討する。 2 広域連携による南アルプスエコパーク・ジオパークエリアの活用 県内4市町村連携による南アルプスエコパーク・ジオパークを活用した観光誘客 3 遠山郷観光協会事業の充実、体制強化 上村・南信濃の一体的な事業の実施補助、遠山郷の情報発信の拠点としての体制整備強化 4 遠山郷特産品開発事業 温泉水を利用したとらふぐの養殖及び特産品として提供できる施設の整備 5 遠山郷観光誘客プラットフォームづくり事業 遠山郷観光情報の発信機能強化、遠山郷の暮らし情報の発信、ツアーガイド育成</p>				<p>1 遠山郷市場調査、検証、検討等 2 広域連携による観光誘客事業の実施(ホームページ更新等) 3 遠山郷観光協会事業実施補助、体制強化補助 4 遠山郷特産品開発事業補助 5 (1) 遠山郷観光協会ホームページ更新 (2) 移住・定住情報サイト立ち上げ (3) ネイチャーガイド研修</p>			<p>1 1式 2 1式 3 遠山郷内観光事業の実施、3人体制 4 4m水槽及び浄化槽各1基外1式 5 (1) 1式 (2) 1式 (3) 1回</p>	
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		15,248	29,400	28,429	0	(国)地方創生推進交付金(1/2) (県)市町村合併特例交付金 (そ)過疎地域自立促進基金繰入金			
国庫支出金		1,521	1,500	1,500					
県支出金		2,400	12,800	12,800					
起債									
その他		10,700	13,600	13,600					
一般財源		627	1,500	529					
人件費計(千円)②		7,152	7,152	7,152	0				
正規職員所要時間		2,000	2,000	2,000					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		22,400	36,552	35,581	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	上村、南信濃両地区が共同した事業の実施により、遠山郷の一体的な観光振興の重要性を共有した。遠山郷観光協会のホームページリニューアル、移住・定住情報サイト「遠山GO HOME」の開設により、遠山地域の情報発信の充実が図られた。								
改革改善の考え方	①問題点	一過性に頼らない観光地域づくりを進めるためにも、ターゲット、アプローチ方法を検討する。							
	②改革提案	上村、南信濃両地区を遠山郷エリアとして一体感を創出するため、両地区が共同して遠山郷らしい空間や景観づくり、観光戦略を検討する。							